

株式会社 かほく・上品の郷

- (1) 情報公開シート I (PDCAサイクルシート)
- (2) 情報公開シート II (財務諸表等)
- (3) 情報公開シート II の補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録
- (12) 事業計画書

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 平成 29 年 6 月 29 日

市所管部署 石巻市 河北総合支所 地域振興課

2 法人名称等

法人名称 株式会社 かほく・上品の郷
 法人所在地 石巻市 小船越字二子北下1番地1
 設立年月日 平成 16 年 10 月 22 日
 代表者職・氏名 代表取締役 太田 実

設立目的・経過

道の駅「上品の郷」の維持管理及び運営の受諾を行う事を目的とする。平成17年3月 指定管理者に指定 管理に関する協定書締結 平成18年4月石巻市の指定管理者に指定 石巻市との管理に関する協定書締結

3 定款上の事業内容

- (1) 石巻市及び他公共団体が設置する施設（道の駅）の維持管理及び運営の受諾業務
- (2) 書籍・日用品雑貨・食料品・たばこ・酒類・農林水産物の販売事業
- (3) 食堂施設の経営事業
- (4) その他前各号に付帯する一切の業務
- (5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
50,450 千円	45,000 千円	89.2 %	個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	6	6	6
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	1	1	1
計	7	7	7
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	2

(2) 職員

	H26期末	H27期末	H28期末
常勤	14	13	14
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	56	64	62
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	70	77	76
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

・お客様に対するサービスを最大限に心がけ、経営の合理化と節減をはかり、地域に貢献できる企業として成長する。
 ・日本全国の皆様から愛され、親しまれ、また行ってみたいと言われる施設として、地域活性化に貢献する。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
純売上高	千円	目標計画	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
		実績	980,239	926,233			
目標・指標の説明			法人売上高に法人以外の売上高（農産物直売所出品者の売上等）を加えた、道の駅全体の売上高である純売上を指標とし、目標として年間10億円を設定。				
目標未達の場合の要因分析			毎月社員全員で協議を行っている改善会議で分析をし、新しい取組みを実施する。				

目標項目・指標	単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
道の駅 管理運営業務	三陸道4車線化工事と河北インター改修のため、工期1年間封鎖の申し入れがあり、交渉を重ね、夜間閉鎖を含め7ヶ月間（実質昼夜閉鎖101日間）の工事にして頂きましたが、売上も大きく落込み、非常に厳しい年度でした。	旅の楽しみ方に変化があり、お金をかけないで家族が満足できる姿に変化し、車中泊者が多く夜間の管理には配慮する必要がある。イベントを多数実施しており、飽きさせない楽しませる工夫をしました。	石巻市との大規模災害発生時における支援協力に関する協定を締結しており、支援協力をを行う。防災関係・道路情報・被災情報等の発信など、重要な役割を担う。
事業の公共性、公益性	社員一同笑顔絶やさず、お客様を感謝の心でお迎えし、常に奉仕の心で対応することを心がけております。レストランでは、地場産品の手作り料理を、直売所では安心安全な商品の販売に努めることはもちろん、トレーサビリティの充実も図っております。また環境に配慮したCO2見える化にも取り組みながら、お客様に憩いと安らぎ、そして安心安全な商品等を提供し、体の健康だけでなく心の健康にも配慮した事業を行っております。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
事業の公共性、公益性			

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	株式会社かほく・上品の郷
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	流動資産	206,349	214,865	8,516	220,878	6,013
うち 現金・預金	190,489	200,034	9,545	206,507	6,473	
固定資産	77,059	65,964	▲ 11,095	62,341	▲ 3,623	
有形固定資産	54,257	42,444	▲ 11,813	38,842	▲ 3,602	
無形固定資産	1,229	740	▲ 489	691	▲ 49	
投資その他の資産	21,573	22,780	1,207	22,808	28	
資産の合計	283,408	280,829	▲ 2,579	283,219	2,390	
貸方（科目）	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減	
流動負債	88,091	78,238	▲ 9,853	75,752	▲ 2,486	
うち 短期借入金						
固定負債	41,018	46,830	5,812	50,345	3,515	
うち 長期借入金						
負債合計	129,109	125,068	▲ 4,041	126,097	1,029	
純資産	154,299	155,762	1,463	157,122	1,360	
うち 資本金	50,450	50,450		50,450		
うち 資本剰余金						
うち 利益剰余金	103,849	105,312	1,463	106,672	1,360	
うち その他						
負債・純資産の部合計	283,408	280,830	▲ 2,578	283,219	2,389	

損益計算書（P/L）	科目	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
	売上高	495,575	492,479	▲ 3,096	457,191	▲ 35,288
売上原価	179,604	174,958	▲ 4,646	162,347	▲ 12,611	
売上利益	315,971	317,521	1,550	294,844	▲ 22,677	
販売費・一般管理費	311,978	317,011	5,033	297,633	▲ 19,378	
営業利益	3,993	510	▲ 3,483	▲ 2,789	▲ 3,299	
営業外収益	4,998	5,760	762	4,965	▲ 795	
営業外費用	1,812	1,894	82	93	▲ 1,801	
経常利益	7,179	4,376	▲ 2,803	2,083	▲ 2,293	
特別利益		3,150	3,150		▲ 3,150	
特別損失	5,000	6,150	1,150	83	▲ 6,067	
税引前当期純利益	2,179	1,376	▲ 803	2,000	624	
法人税等	▲ 155	▲ 86	69	640	726	
当期純利益	2,334	1,462	▲ 872	1,360	▲ 102	

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
営業活動によるキャッシュフロー	26,742	6,729	▲ 20,013	8,784	2,055
税引前当期純利益	2,178	1,376	▲ 802	2,000	624
減価償却費及び引当金の増減額	18,725	15,291	▲ 3,434	9,446	▲ 5,845
受取利息及び受取配当金	▲ 46	▲ 50	▲ 4	▲ 37	13
営業活動に係る資産及び負債の増減	5,294	▲ 8,151	▲ 13,445	▲ 1,895	6,256
利息及び配当金の受取額	46	50	4	37	▲ 13
利息等の支払額					
法人税等の支払額	545	▲ 1,787	▲ 2,332	▲ 767	1,020
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 27,507	▲ 5,006	22,501	▲ 5,862	▲ 856
有価証券の増減額					
有形固定資産等の増減額	▲ 11,447	10	11,457	▲ 5,796	▲ 5,806
投資有価証券の増減額				▲ 10	▲ 10
貸付金の増減額					
その他の固定資産等の増減額	▲ 16,060	▲ 5,016	11,044	▲ 55	4,961
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 3,085	2,812	5,897	3,514	702
短期借入金の増減額					
ファイナンス・リース債権等の増減額					
長期借入金の増減額					
資本金等の増減額					
配当金の支払額					
その他固定資産等の増減額	▲ 3,085	2,812	5,897	3,514	702
現金及び現金同等物に係る換算差額					
現金及び現金同等物の増減額	▲ 3,850	4,535	8,385	6,436	1,901
現金及び現金同等物期首残高	60,050	56,200	▲ 3,850	60,735	4,535
現金及び現金同等物期末残高	56,200	60,735	4,535	67,171	6,436

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成26年度期	平成27年度期	前期増減	平成28年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）					
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）					
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）					
委託料及び指定管理料					
借入金（期末残高）					
短期借入金					
長期借入金					
出資・出捐（期末時）					
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名： 株式会社 かほく 上品の郷

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

利益余剰金の配当を見送ったことにより、純資産が対前期 1,360 千円増加しました。
 設備投資にリースを中心に計 8 件実施しました。今後設備の老朽化に伴う購入等の増加が考えられます。
 貸借項目での重要な数値「自己資本率」は 50%台を維持しております。
 (当期：55.5% 前期：55.5% 前々期：54.4%)

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
固定資産	対前期 3,623 千円 5.5%減	機械装置、構築物の減少による
流動負債	対前期 2,486 千円 3.2%減	売上の減少に伴う、買掛金、消費税、法人税、事業預り金の減少が要因

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

総売上高が減少しているため、それに伴い売上原価、販売費及び一般管理費、営業外収益、営業外費用が前年より減少。今年度は三陸自動車道の 4 車線化に伴う工事の関係で、河北インターチェンジが下記の通り封鎖になった事により、車両での来客数(観光バス含む)の減少が大きく影響しています。(売上高 対前期 35,288 千円減・7.2%減)
 ・封鎖期間：5/11(PM. 9:00)～7/31(AM. 6:00)、11/24(PM. 9:00)～12/16(AM. 6:00)

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
販売費・一般管理費	対前期 19,378 千円 6.1%減	広告宣伝費 2,856 千円減、電力・水道燃料費 4,718 千円減、減価償却 2,844 千円減、が要因
営業外費用	対前期比 1,801 千円 79%減	地場産品奨励金を出さなかった為

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

営業活動によるキャッシュフローは当期末で8,785千円と、前期と比較して2,056千円増加しております。投資活動、財務活動によるキャッシュフローと併せてみても、当期末での現預金が6,437千円増加していることから、資金繰りについては特に問題ないと考えられます。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
有形固定資産 の増減	対前期 5,796千円減	構築物、機械装置の減価償却による減少

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位:円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等(指定管理含む)の状況

委託業務の名称	委託料(単位:円)	委託業務の内容

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位:円)	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：株式会社かほく・上品の郷

担当部署名：河北総合支所地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

様々な環境の変化に対応し、経営努力を続けることで震災前を1億円以上上回る純売上を維持し続けている。

近隣に開発予定の復興団地や観光客の流れの変化をつかみながらも、経営理念通りの明るい接客で地域活性化に貢献し続けることを期待する。

（2）主要事業の成果、課題

道の駅としての各方面からの評価は高く、28年度は東北「道の駅」大賞を受賞。三陸道の工事に伴う河北インターの長期閉鎖による影響で来場者数が落ち込んだ一年となった。今後も開通区間の延長による国道45号線の通過台数減少や復興特需の鎮静化による影響が予想されるなか、リピート客や周遊客の取り込みに重点を置く施策が益々重要になると思われる。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

資産・負債の状況は、ほぼ横ばいである。

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

売上高、売上利益ともに減少したが、販売費・一般管理費、及び営業外費用を抑える等の努力で当期も純利益を確保した。

(3) キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローを昨年より増やすと同時に、投資活動によるキャッシュフローを抑えることでフリーキャッシュを確保している。それにより現預金も増加させており、資金繰りに問題はないと考えられる。

(4) 市による財政・金融支援等

市からの財政支援は、現在のところ会社設立時の出資のみ。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

情報や交流の拠点施設として、道路利用者や地域住民等に対し、より一層親しまれるようサービスの向上及び運営の効率化に努められることを期待する。

また、当市との災害時支援協定により、地域の重要拠点としての信頼性を益々高められると同時に、道の駅としてのブランドを築かれることを祈念する。